

大雨による内水氾濫への備え



激しい雨がが続くと、雨水を排水しきれず道路上にあふれ出す「内水氾濫」が発生することがあります。堺市でも、令和4年9月2日に既往最大の時間雨量99mmの雨を観測し、床上浸水や道路冠水等の被害が起こりました。内水氾濫は、局地的で短い時間のうちに発生することが多く、あらかじめ予測するのが難しいのが特徴です。そのため、テレビやスマートフォンのアプリなどでこまめに気象情報を確認し、いざというときに落ち着いて避難できるよう、日頃から備えておくことが大切です。



堺市内で内水氾濫が発生した時の様子



1時間降雨量50mm以上の年間発生回数
(全国)

【市民の皆様をお願いしたいこと】

○ 早めの避難を心がけてください

- 大雨で危険を感じたときや避難情報が発令された際は、大雨の状態その他周辺の状況に十分注意をして指定避難所が少しでも浸水しにくい高いところへの避難など適時適切な避難行動をお願いします！

《事前準備》

○ 浸水リスクを確認しましょう

- 内水による浸水想定区域図（裏面参照）で、浸水する深さが0.5m以上となる住宅は避難情報発令の対象となっていますので、ご自宅や職場、学校などの浸水リスクをあらかじめ確認してください！
※内水による浸水想定区域図で浸水が想定されていない箇所でも雨の降り方や側溝の詰まり等の雨水の流れを阻害する要因がある場合、浸水が発生する可能性がありますので注意が必要です。

○ 避難方法を考えましょう

- 想定される浸水の深さを確認し、ご自宅の上階や家族・親戚宅、指定避難所等の避難場所を事前に検討をお願いします！

○ 側溝や雨水ますの清掃にご協力ください

- 側溝や雨水ますにゴミや落ち葉が詰まると浸水の原因になるため、日ごろから清掃にご協力をお願いします！

《大雨が来たとき》

○ 気象情報や避難情報のチェックをお願いします

- テレビやラジオ、大阪防災アプリ等を使って、こまめに情報を確認し、早めの行動を心がけましょう！

○ 地下道（アンダーパス）やマンホール、側溝などに注意してください

- 地下道（アンダーパス）で冠水が発生すると、車両の立ち往生や水没事故につながるおそれがあるため、冠水時には地下道（アンダーパス）には進入せず、迂回するなどの対応をお願いします。
- 道路冠水時は、水の深さが分かりにくく蓋が外れたマンホールや水路・側溝等に落ちる危険があるので、特に注意が必要です！



【避難情報等の伝達について】

堺市では、避難情報の発令対象地域の方へ、防災行政無線屋外スピーカーや市ホームページ、緊急速報メール、テレビ、ラジオ、大阪防災アプリ、戸別情報配信電話・メール等により情報をお伝えしています。

ご自身や大切な人の命を守るため、これらをご活用いただきながら情報収集をお願いします。

「大阪防災アプリ」



（避難についての問い合わせ先）

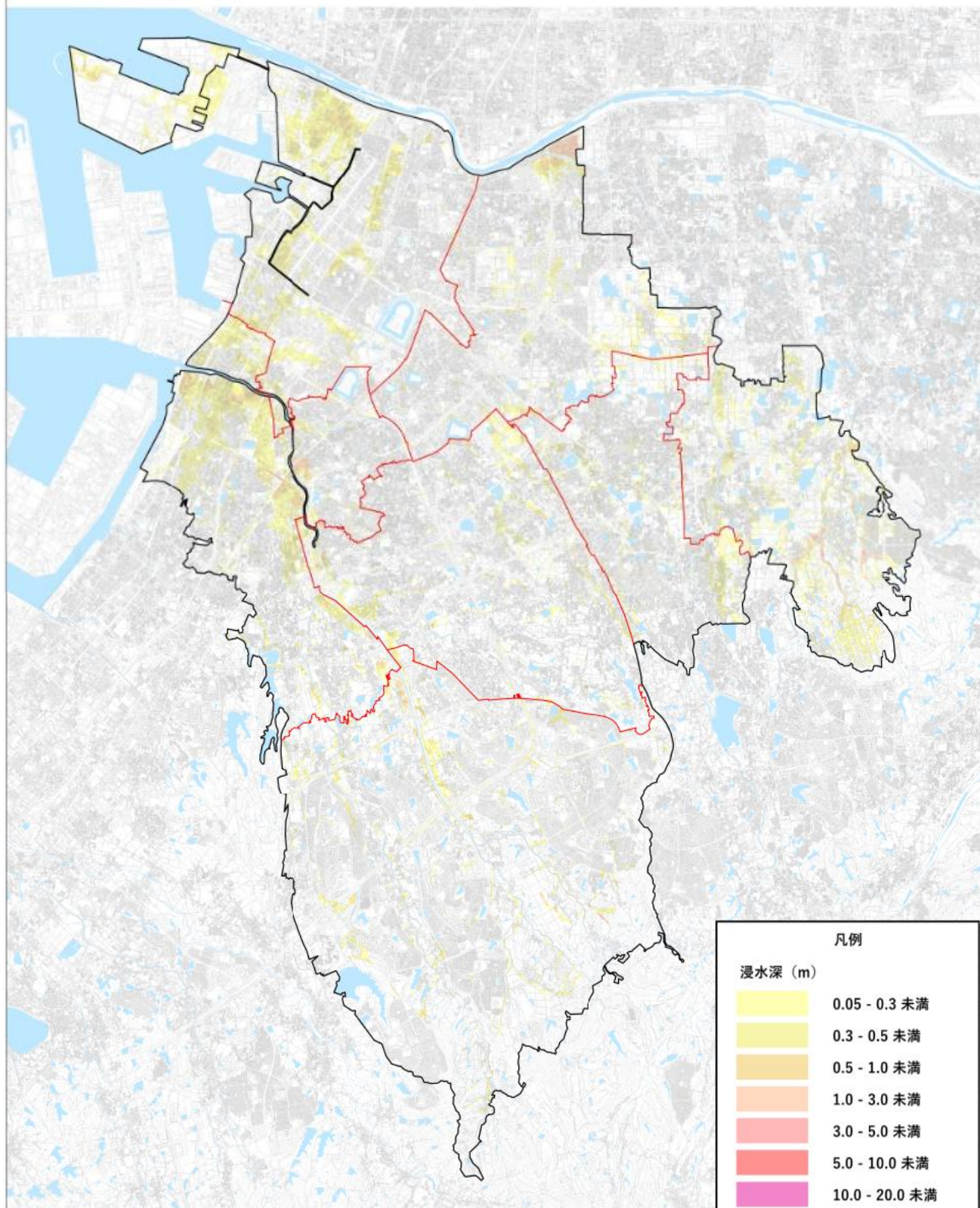
堺市 危機管理室 危機管理課

電話番号：072-228-7605

メール：kikan@city.sakai.lg.jp

FAX番号：072-222-7339

雨水出水（内水浸水）想定区域図 （時間雨量147mm）



凡例	
浸水深（m）	
	0.05 - 0.3 未満
	0.3 - 0.5 未満
	0.5 - 1.0 未満
	1.0 - 3.0 未満
	3.0 - 5.0 未満
	5.0 - 10.0 未満
	10.0 - 20.0 未満
	20.0 以上

—：区境界
—：公共下水道区域

（雨水出水想定区域図についての問い合わせ先）
堺市 上下水道局 下水道事業調整課
電話番号：072-250-5107 メール：geji@city.sakai.lg.jp
FAX番号：072-250-5977

区域図を詳しく見るにはこちらから 雨水出水（内水浸水）想定区域図は、過去の大雨の降雨量データをもとに地域ごとの最大降雨量を参考に算出した想定最大規模降雨量を採用しています。